



PRESS RELEASE
報道関係 各位

2022年3月28日
公益財団法人日本パラスポーツ協会
日本パラリンピック委員会

2026年アジアパラ競技大会の開催表明 共同記者会見
日本パラリンピック委員会会長発言

公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会(以下、JPC)は、開催自治体の愛知県、名古屋市とともに、本日、共同記者会見を実施いたしましたのでお知らせいたします。

記者会見でのJPC会長の発言要旨については、下記の通りです。大会の詳細は、別添資料をご覧ください。

記

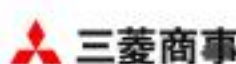
【JPC会長 発言要旨】

アジアパラ競技大会は、2026年大会で5回目を数えますが、大会の前身はフェスピック大会と呼ばれ、1964年の東京パラリンピックの開催を実現させた故 中村裕(ゆたか)博士らが1975年に創設し、アジア及び南太平洋地域のパラスポーツの普及・発展のために開催されてきた大会です。

昨年の東京2020パラリンピック競技大会は、選手達の大活躍で素晴らしい大会となりました。さらに重要だったことは、東京パラリンピック開催を機会に、パラスポーツの普及・啓発が各地で盛んに行われたこと、メディアの情報発信も競技や選手の紹介にとどまらずパラスポーツの意義や価値を積極的に紹介していただいたこと、パラスポーツに対する企業の協力が広がり、資金面のみならずアスリートの雇用や社員のボランティア活動等、多面的・積極的な支援が進んだことなどが挙げられます。

また、開催都市の東京をはじめ、文部科学省のリーダーシップのもと、小中高におけるパラリンピック教育「I'm POSSIBLE(アイム・ポシブル)」が積極的に推進され、多様性を尊重する共生社会への気づきが子供たちを通してご家族など周囲の方々にも芽生えました。

JPC OFFICIAL SPONSORS





愛知・名古屋市2026アジアパラ競技大会におきましても、大会の成功はもとより、大会開催を契機とした多様性を尊重する共生社会の実現の取り組みを、ご一緒に進めさせていただければ幸いです。

JPCといたしましても、精一杯ご協力をさせていただきたいと思えます。

以上

【別添資料】

「2022年3月28日(月)愛知県・名古屋市・JPC共同記者会見説明資料」

<本件に関するお問合せ先>
(公財)日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会
企画広報部 黒田・藤沢
E-mail:jpcjpsa-media@parasports.or.jp

JPC OFFICIAL SPONSORS

